

## 国民体育大会（国民スポーツ大会） 選手役員の選考について

### 国体開催基準要項より

「選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長と体育・スポーツ協会会長が代表として認め、選抜したものであること」

\*競技団体理事会、県スポーツ協会理事会等で承認されること。

### 選手選考

国民体育大会冬季大会スキー競技会長野県予選会の、順位を優先し選考するが国民体育大会は都道府県対抗得点競技の為、下記の通りとする。

1) 選手の選考は予選会の成績順位で50% 選考

(2名枠は予選会順位で1人決定)

(3名枠は予選会順位で1人決定)

(4名枠は予選会順位で2人決定)

(6名枠は予選会順位で3人決定)

\* 基本的にフルエントリーとするが、レベルが全国レベルに達していないと判断される場合は選考しない。また、上記の割合で選手決定はするが、スタート順等については予選順位とは限らず得点の取れる作戦を考慮しスタート順の入れ替えもある。

2) 予選会免除対象について

- ・国体諸規定による「国民体育大会予選会免除に関する要領」の対象選手免除対象者 次の競技大会に参加する者は、都道府県代表選考のための予選会の出場を免除することができる。
  - ア オリンピック競技大会
  - イ アジア競技大会
  - ウ ユニバーシアード競技大会
  - エ 競技団体が指定する世界選手権大会等の国際競技大会（要 派遣通知）
- ・日本スポーツ協会が定めるトップアスリーの国民体育大会参加資格の特例措置対象選手は予選会免除

### 3) 選手の選考委員、最終選考委員会（理事会）

選手の選考は国体種目のセクションに於いて、セクション部長が中心となり各セクションで選手選考を行い、最終選考委員会（理事会）へ進め承認を得る。

※派遣スタッフについては以下のとおり

- ・ 監督      \*各セクション1名  
              (ジャンプ競技・コンバインド競技は兼任)
  
- ・ 支援コーチ \*各セクション6名以内  
              (強化委員長・ワックスマンもコーチ枠に含む)
  
- ・ トレーナー